

Title	編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第1号)
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (2000), 46(1): 76-76
Issue Date	2000-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/114184
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円，英文は6,500円，超過頁は1頁につき7,000円，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円，6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編集後記

2000年が明けた。日本の社会は激しく動いている。医学・医療を取り巻く状況も厳しいものがある。これからどのような方向に進むであろうか。

アメリカの10年前が現在の日本に当てはまると云われたことがある。なんとなく反発したくなる考えではあるが，少なくとも参考になることだけは確かである。アメリカの医療が辿った同じ道を，日本の医療も辿るであろうと思われる点がいくつかあげられる。

まず，DRG/PPS の医療保険制度は，5年くらいのうちに日本でも行われるようになるであろうが，そうになると，効率の良い医療が病院の収入増加につながり，いかにして入院期間を短縮し，診療にかかる諸経費を少なくするかに重点が移行する。医学・医療の専門化，細分化はさらに進むが，同時にホリスティック メディシン。全人医療の重要性が叫ばれ，プライマリー ケアのニーズは増加する。

医学研究はどうなるか。大学病院は独立法人化により病院としての財政が重視されるようになる。患者さんが集まるような教授を大学病院も求めるようになる。臨床研究も研究のための研究，ペーパーのための研究はなくなり，臨床に役立つ研究，意義のある研究が志向されるようになる。未知なるものへの挑戦をすべて是とする考えでは，研究を続けることはできなくなる。

医学教育に求められるものは，良医を育てることであり，研究者を育てることではないことがはっきりする。研究者の育成は大学院の任務である。その大学院も，研究者の育成だけではなく，より高度の専門家の育成も目標の一つになるであろう。

以上は思いつくままの予測であるが，いずれにしてもはっきりと時代の流れを見定めて，しっかりした舵取りをすることがリーダーに求められている。

(吉田 修)